

大問一 問一

基準 配点.. 1点×7

■模範解答 ※解答例の通り(漢字書き取り)

- |   |           |
|---|-----------|
| 1 | 育         |
| 2 | 誘因        |
| 3 | 刹那        |
| 4 | 散見        |
| 5 | 示唆        |
| 6 | 枚挙        |
| 7 | 無駄(「徒」も可) |

大問一 問二

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素B不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

選択の余地が多く、

B

安定性や持続性が期待できない一時的な関係。 (30字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…三十字以内 十四字以下のもは全体不可(0点)

■要素A **選択の余地が多く…3点**

- ・関係性が固定化されず、選択の余地があるということを説明していないものは要素A加点点なし

■要素B **安定性や持続性が期待できない一時的な関係…3点**

- ・安定性、持続性が見込めない関係であることを説明していないものは要素B加点点なし
- \* 「安定性・持続性がないこと」で2点、「一時的であること」で1点。

大問一 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 9点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

選択してもらえらるるように、

B

相手を惹きつける有用性の高い資質を

C

備えているということ。 (40字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…四十字以内 十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A **選択してもらえらるるよう**に…3点

- ・「相手に選んでもらえるよう」にするための行為であることの説明をしていないものは要素A加点数なし

■要素B **相手を惹きつける有用性の高い資質**を…3点

- ・要素Aのためには「有用性」が求められることについて説明していないものは要素B加点数なし

■要素C **備えているということ**…3点

- ・「貯える」の言い換えをしていないものは、要素C加点数なし

## 大問一 問四

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素C不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準 配点… 12点**

### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

人間関係に資本の論理をあてはめて、

B

有用だと思われる人に投資を集中させることで、

C

相手が自分にとって大きな利益をもたらしてくれるとする考え方。(69字)

### ■採点方法…各要素単独採点

### ■字数…七十字以内 三十四字以下ものは全体不可(0点)

### ■要素A 人間関係に資本の論理をあてはめて…4点

- ・資本の論理を人間関係にあてはめるということを説明していないものは要素A加点数なし

### ■要素B 有用だと思われる人に投資を集中させることで…4点

- ・要素Aから、有用性の高い人物に投資を集中させるということを説明していないものは要素B加点数なし

### ■要素C 相手が自分にとって大きな利益をもたらしてくれるとする考え方…4点

- ・要素Bの結果、相手が自分に利益をもたらすということについて説明をしていないものは要素C加点数なし

大問一 問五

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素D不可。
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 16点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

低いコストで最大限の効率を得て、

B

自身の満足度を最大化しようと考えて、

C

友人や親に資源や資本の論理をあてはめるあり方は、

D

さびしさやつめたさを感じさせるものであり、好ましいものではないと捉えている。 (96

字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 低いコストで最大限の効率を得て…4点

- ・「合理性」の内容として、低コストで最大限の効率を得ようとするということを説明していないものは要素A加点なし

■要素B 自身の満足度を最大化しようと考えて…4点

- ・要素Aは満足度を最大化しようとするのだということを説明していないものは要素B加点なし

■要素C 友人や親に資源や資本の論理をあてはめるあり方は…4点

- ・要素AとBのために、資本の論理を友人や親にあてはめるということを説明していないものは要素C加点なし

■要素D さびしさやつめたさを感じさせるものであり、好ましいものではないと捉えている…

4点

・筆者は要素AからCのあり方を否定的に捉えているということを説明していないものは要素D加点数なし

## 大問二 問一

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素B照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素B不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

嫉妬感情は

B

時代や場所に関わらない普遍性をもっているから。(28字)

### ■採点方法…各要素単独採点

### ■字数…三十字以内 十四字以下のもは全体不可(0点)

### ■要素A 嫉妬感情は…3点

- ・嫉妬感情についての「説明」が「不要」であるということの説明していないものは要素A加点数なし

### ■要素B 時代や場所に関わらない普遍性をもっているから…3点

- ・要素Aは「普遍性」をもっているということについて説明していないものは要素B加点数なし

大問二 問二

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(抜き出し問題)

比較できない相手(8字)

大問二 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素G参照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素G不可。
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 16点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 他人の成功への負の感情という点で

B 似ているが、

C 義憤が

D すべての不当な幸運に対しての感情であるのに対し、

E 嫉妬は自分との比較対象に対するもので、

F それが相応なものだとしても抱く感情である点で

G 異なるということ。(99字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 他人の成功への負の感情という点で…2点

・義憤と嫉妬の共通点について説明していないものは要素A加点数なし

■要素B 似ているが…2点

・要素Aの共通性から「似ている」ということを説明していないものは要素B加点数なし

■要素C 義憤が…2点

・義憤と嫉妬の相違点について、まずは義憤についてのことであると説明していないものは要素C加点数なし

■要素D すべての不当な幸運に対しての感情であるのに対し…3点

・要素Cの内容として、すべての不当な感情にたいするものであることについて説明していないものは要素D加点数なし

■要素E 嫉妬は自分との比較対象に対するもので…3点

・要素CとDに対して、嫉妬は対象が限定されるということについて説明していないものは要素D加点数なし

■要素F それが相応なものだとしても抱く感情である点で…2点

・要素Dに対して、要素Eは相応なものも対象になるということについて説明していないものは要素D加点数なし

■要素G 異なるということ…2点

・義憤と嫉妬は「異なる」ということを説明していないものは要素D加点数なし

## 大問二 問四

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素C照／理由説明の結び「〜から」になっている場合は、要素C不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 9点

### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

人間は、他者と自分の関係を

B

自分より優位か劣位かという比較で考えて、

C

自らのあり方を認識すること。 (50字)

### ■採点方法…各要素単独採点

■字数…五十字以内 二十四字以下のもは全体不可 (0点)

### ■要素A 人間は、他者と自分の関係を…3点

- ・「私たち」の言い換えを含め、自分と他者の関係であることを説明していないものは要素A加点数なし

\*ただし、要素Bに「他者」「人」と示していれば、「自分と他者との関係」ということに触れていなくても可

### ■要素B 自分より優位か劣位かという比較で考えて…3点

- ・要素Aの両者を「優位」「劣位」で考えるところについて説明していないものは要素B加点数なし

### ■要素C 自らのあり方を認識すること…3点

- ・「自分の立ち位置をはかる」の言い換えをしていないものは、要素C加点数なし

## 大問二 問五

### ■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素D不可。
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 13点

### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

他者との比較を通じて抱く嫉妬は、

B

通常自分よりも優位な相手に対して向けられるものであるが、

C

自分よりも劣位の相手にも生じる

D

複雑なものであるから。(70字)

### ■採点方法…各要素単独採点

■字数…七十字以内 三十四字以下のは全体不可(0点)

### ■要素A 他者との比較を通じて抱く嫉妬は…3点

- ・「この感情」の内容が「嫉妬」であることの説明していないものは要素A加点数なし
- \*要素B・Cで「優位な相手」「劣位の相手」との関係に触れていれば、「他者との比較」はなくても可

### ■要素B 通常自分よりも優位な相手に対して向けられるものであるが…4点

- ・要素Aの感情は、通常は自分より優位な者に向けられるものだとすることを説明していないものは要素B加点数なし

### ■要素C 自分よりも劣位の相手にも生じる…4点

- ・要素Bに対して、劣位の者にも生じるということを説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D 複雑なものであるから…2点

- ・要素BとCのあり方が「複雑さ」をもっていていると説明していないものは、要素D 加点なし

# 大問三(古文)(配点25点)

## 問一 口

### ■問題16ページ(問題文14ページ)、短文解釈問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…該当条件なし
- ・句点の扱い…該当条件なし

### 基準 配点：3点

#### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A B

(姉の姫君の)袖が涙で並一通りではないほど濡れている。

#### ■採点方法…各要素単独採点。(姉の姫君の)の箇所は採点には直接関係なし。

#### ■字数…該当条件なし

#### ■要素A (姉の姫君の)袖が 1点

- ・「御袖」の解釈に敬意が示されているので、どこかに敬意を含ませる必要あり。
- ・同意例：「姉君の袖が」でも可。敬意が表現されるとみなす。

「姉の袖が」は不可。ただし、「姉の袖が濡れていらっしゃる」のように後半の敬語で示されているものも可とする。

- ・不可例：「姫君のお袖が」では姉君か妹君かが判別できないので不可。

#### ■要素B 涙で並一通りではないほど濡れている。 2点

- ・「ひどく涙で濡れている」という意味になっているか。
  - ・同意例：「ひどく泣き濡れていらっしゃる」でも可。
  - ・不可例：「濡れている」だけでは不可。「袖がかわくことがない」も不可。
- 「並一通りではない・半端ではない・ひどく」などというニュアンスが必要。

## 問1 二

### ■問題16ページ(問題文14ページ)短文解釈問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…該当条件なし
- ・句点の扱い…該当条件なし

**基準 配点：3点**

#### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A  
B

(姉の姫君は) 本当にかわいらしく子供のようである。

#### ■採点方法…各要素単独採点

#### ■字数…該当条件なし

#### ■要素A 本当にかわいらしく 2点

- ・「いと」を「たいへん・ひじょうに」と解釈し、「らうたく」が「かわいらしく」と訳してあること。
- ・同意例…「ひじょうにいじらしく」「とてもあいらしく」でも可。
- ・不可例…「とても若々しく」はマイナス1点。

#### ■要素B 子供のようである。 1点

- ・同意例…「子供のような様子である」「幼い様子である」「無邪気な様子である」でも可。「子供
- ・ 供のようであった」「あどけない様子である」でも可。
- ・ 不可例…「恥ずかしそうな様子である」は不可。

## 問1 ホ

### ■問題16ページ(問題文14ページ)、短文解釈問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…該当条件なし
- ・句点の扱い…該当条件なし

**基準 配点：3点**

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A B

(姉の姫君は妹の中の君と比べて) どれほどの年上でもいらっしやらず。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…該当条件なし

■要素A どれほどの **1点**

- ・「(歳の) かなり離れた」の意味。
- ・同意例：「ひじょうに(歳の) 離れた」「たいして(↓「歳の差もなく」)に続く」は可。
- ・不可例：「何度でも」はダメ。

■要素B 年上でもいらっしやらず。 **2点**

- ・「このかみ」が「年長・年上」+敬語の表現「でいらっしやる」+打消の解釈
- ・同意例：「年も離れていらっしやらず」は可。
- ・不可例：「年長でもなく」のような敬語がないものはダメ。ただし、「**姉君は**〜年長で」の  
ような主体に敬意の含まれている解答は正解とみなす。

## 問二

### ■問題 16 ページ（問題文 14 ページ）、内容説明問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…該当条件あり。
- ・句点の扱い…該当条件なし

#### 基準 配点：5点

#### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

B

C

問二 姉の姫君の、右大将家の少将の通いが途絶えたので四五日の間、気がかりで憂鬱な日々を送っていた様子。（四八字）（5点）

#### ■採点方法…各要素単独採点。要素Aだけ正解のものには加点しない。

#### ■字数…四〇字以下のものはマイナス2点。

#### ※■要素A 姉の姫君のく様子 1点

- ・設問の問いかけに応じた文末処理 1点。
- ・同意例…「ということ」も可。「姫君のく様子」では妹か姉かはつきりさせてないのでダメ。
- ・不可例…「送っている。」のような文末処理はダメ。

#### ■要素B 右大将家の少将の通いが途絶えたので 2点

- ・姉の姫君が沈んだ様子である理由が**右大将の少将の通いが途絶えた**せいであると書かれて  
いるか。 2点。
- ・同意例…「右大将の少将が四五日の間来なかったので」でも可。
- ・不可例…「少将の通いが四五日の間なかったで」のように「少将」だけではダメ。

#### ■要素C 四五日の間、姉の姫君が気がかりで憂鬱な日々を送っていた 2点

- ・少将の訪れが絶えた時の姉君の心模様。「四五日の間もの思いにふける日々を送る」という  
内容
- ・同意例…「**ここ数日の間**気がかりでつらい気持ちで日々を送る」でも可。
- ・不可例…「四五日間、消息不明であった」はダメ。

## 問三

### ■問題 16 ページ（問題文 14 ページ）、心情説明問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…該当条件あり
- ・句点の扱い…該当条件なし

**基準 配点：5点**

#### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

B

C

父の強引な誘いを断り切れず、長谷寺に参詣していたために来ることができなかったという事情。(四四字) (5点)

#### ■採点方法…各要素単独採点。ただし、要素Cだけ正解は加点無し。

#### ■字数…三五字に満たないものはマイナス2点。

#### ■要素A 父の強引な誘いを断り切れず 2点

- ・父の誘いを断り切れなかったという内容
- ・同意例…「父に無理やり連れていかされた」でも良い。
- ・不可例…「急用があって姫君のことをつい忘れていたために」はダメ。

#### ■要素B 長谷寺に参ったために通うことができなかった 2点

- ・長谷寺参詣のために行けなかったという内容。
- ・同意例…「長谷寺修行に父と参ったために」も可。
- ・不可例…「姫君の幸せを嘆願するために長谷寺に参ったため」は不可。

#### ※■要素C という事情。 1点

設問の問いかけに応じた文末処理。ただしこの箇所のみ正解には加点無し。

- ・同意例「という(理由があった)こと」。「と説明している」でも可。
- ・不可例…「姫君のところに行けなかった。」はダメ。

## 問四

### ■問題 16 ページ（問題文 14 ページ）、内容説明問題

#### ■形式上の不備

- ・文末表現…「ということ」
- ・句点の扱い…該当条件なし

**基準 配点：6 点**

#### ■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

B

問四 I は右大将家の少将の通いが途絶えたことを悲しむ姉の姫君の歌であり、II は自分の愛情は変わらないから心配などしないようにと右大将の少将が姉の姫君に告げた歌である。（八十字）（6 点）

#### ■採点方法…各要素単独採点。ただし※要素 A のみ正解は加点無し。

#### ■字数…六四字に足りないものはマイナス 2 点。

#### ※■要素 A I はく姉の姫君の歌であり、II はく右大将の少将が姉の姫君に告げた歌である。

2 点。

- ・I と II が誰の歌であるかが明記されている。
- ・同意例…I が姉の姫君、II が右大将の少将の歌であるも可。
- ・不可例…「それぞれの姫君が男君に」は説明不足。

#### ■要素 B 右大将の少将の通いが途絶えたことを悲しむ 2 点

- ・I の和歌の内容の明示。
- ・同意例…「右大将があまり通っていらっしやらないことを不安に思う」は可。
- ・不可例…「右大将の少将が他の女性に熱をあげていることをつらく思う」は不可

#### ■要素 C 自分の愛情は変わらないから心配などしないように 2 点

- ・II の和歌の内容の明示。
- ・同意例…「これからもずっと愛し続けるから悩まないように」は可。
- ・不可例…「他の女には見向きもしないよと」はダメ。

大問四 問一

■形式上の不備

- ・文末表現…不問
- ・句点の扱い…不問

**基準** 配点…各2点

■模範解答 ※例外なし

- a あるひと
- b いづくんぞ
- c かつて
- d ごとく
- e かつ

■形式上の不備

- ・文末表現…不問。
- ・句点の扱い…不問。

基準 配点…4点

■模範解答 ニュアンスが正しければ許容

A B C D

彼はどうして富貴によってその心を変えたりしようか。

■採点方法…複合採点。

■字数…なし

■要素A C 彼は…富貴によってその心を変え…2点

- ・「彼」を「(諫議大夫)陽城」と解釈していてもよい。
- ・「富貴を以て」を「富貴によって」「富貴になったからといって」「富貴のせいで」などと解釈している。

※「富貴」は「富と地位」「金と身分」などでも可。

※ただし「金持ちになったからといって」など、「地位」に触れていない場合は不可。

※「身分が高くなったからといって」など、「金」に触れていない場合も不可。

- ・「其の心を移易す」を「その心を変える」「その心根を変えてしまう」「人が変わる」「人間性が変わってしまう」などと解釈している。

■要素B D どうして…たりしようか…2点

- ・「どうして…たりしようか(…しようか…ことなどろうか)」など、反語形で解釈している。

※「いや、ない」はあってもなくてもよい。

※「どうして(なぜ)…心を变えるのか(のだろうか)」は疑問形の訳なので不可。ただし疑問形の訳でも、「どうして(なぜ)…心を变えるのか。いや、変えるわけがない(変えたりしない)」などと添えてある場合は可。

- ・「…その心を変えない(変えたりしない/変えることはない)」も可。

大問四 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…不問
- ・句点の扱い…不問

**基準** 配点…4点

■模範解答

A

B

もとより | かくのごときか

■採点方法…各要素単独採点

■字数…なし

■要素A もとより…1点

■要素B かくのごときか…3点

・「かくのごときくならんや」も可。

大問四 問四

■形式上の不備

- ・文末表現：「から」「ため」「ので」などでなければ、1点減。
- ・句点の扱い：句点の扱いは1点減。ただし答案七十五字で句点がない場合は字数オーバー扱いで全体0点。

**基準** 配点：7点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

陽城は、皇帝の政治の得失を諫める職に就き、よい待遇も受けながら、一言も政治について言及

B

せず、職務を果たしていないのに、その職を去ってもいないから。

■採点方法…各要素単独採点。

■字数…七十五字以内

■要素A 陽城は、皇帝の政治の得失を諫める職に就き、よい待遇も受けながら、一言も政

治について言及せず…4点

・「陽城」「陽子」に言及がない ↓ **1点減**

・(1)皇帝の過失を諫める職(≡諫議大夫)を拝命し、(2)よい待遇も受けている、(3)それにもかかわらず、一言も政治について言及しない(≡皇帝に対して諫言しない)、の三点に何らかの形で触れているかを確認。要素が一つでも抜けていれば**不可**。

■要素B 職務を果たしていないのに、その職を去ってもいないから…3点

・職務を果たしていない、あるいは、職務を果たせていないのに、その職を去っていない、という点に何らかの形で触れているかを確認。